

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	知能機械工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	長井 隆行		
居室	西8-415		

公開E-Mail	授業関連Webページ
funprog@apple.ee.uec.ac.jp tnagai@ee.uec.ac.jp	<a href="http://apple.ee.uec.ac.jp/FUNPROG">http://apple.ee.uec.ac.jp/FUNPROG</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>情報システムの研究や開発において、ソフトウェアの作成能力は必要不可欠なものである。こうしたシステムの開発では、C/C++言語が広く普及しており、これらを用いたプログラミングの能力は非常に重要である。この講義では、特にC言語による初級レベルのプログラミング手法を学ぶ。また、具体的な問題について、C言語によるプログラミングの演習を行う。これにより基本的なC言語の文法を理解し、簡単なプログラムを自力で作成できるようになることが目標である。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
コンピュータ・リテラシー

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
教科書は使用しません。毎回講義内容に関するプリントを配布します。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>プリントを使って基本的な項目を講義する。実際のプログラミングの演習を並行して行う。具体的な内容は、以下のようなCプログラミングにおける基本事項である。</p> <p>(1) プログラミングとは？</p>

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

- (2) 定数・変数・データ型
- (3) 式・演算子
- (4) 制御構造
- (5) 関数
- (6) 配列
- (7) ポインタ

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

演習と期末テストの結果を次のように総合評価する。  
成績評価 = (演習の評価点40% + 期末テストの評価点60%)

簡単なCプログラムを自力で作れるレベルをもって最低達成基準とする

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。質問等はメールで受け付けます。

### 【学生へのメッセージ】

プログラミングは、習うことでは身につかない。「習うより慣れる」の精神で、実際に自分で使うことが絶対に必要であることを忘れないで欲しい。この授業が、C言語を習得する手助けになるだけでなく、プログラミングにはまるきっかけになることを願っている。

### 【その他】

なし